



+ レーマン

3次元測定機用回転テーブル EA-Q08

5軸加工ワークを簡単測定



リンスコネク
ト社長

山下 宏氏

工作機械向けの回転テーブルをベースにしたモデルで、ウィンドウズベースのソフトウェアで制御する画期的なシステムです。油空圧のロータリージョイントも装備でき、3次元測定機用でさまざまなワークを自動チャックできるシステムも、他にない独自技術です。

ソフトで独立制御するため測定機と通信しなくても使用でき、セットアップが早いです。また、従来の多面計測と比べてプローブの軸移動距離が短くなるため、不確かさが減少して測定精度が向上し、プローブのキャリブレーション回数が減少（一度のみ）するため測定時間を短縮します。ワークが回転するのでプローブはフルストロークの範囲で測定でき、測定できるワーク形状は大きくなります。

3次元測定機を使用する全てのユーザーがターゲットで、2面以上を測定するワークに最適です。今年は5台、来年は20台の販売を目指します。

5軸・複合加工機によるワンチャック加工が切削加工のトレンドですが、加工精度を保証するには加工後のワーク計測が必要不可欠です。一般的な3次元測定機は立形マシニングセンタ（MC）と同様の軸構成であり、5軸MCで加工したワークの全面を計測するには手動によるワークの段取り替えが必要です。3次元測定機用回転テーブル「EA-Q08」はこの段取り替えを横形回転テーブルで自動制御することで、計測時間と段取り時間を短縮できます。



特 徴

EA-Q08は、3軸制御の3次元測定機でも多面計測が自動でできる横形回転テーブル。独立制御できるためセットアップが早く、プローブの軸移動量が短くなり測定速度が向上し、また測定時間を短縮できる。バルブやシリンダヘッド、ケース、シャフト、薄板の表裏、表裏の穴の同軸度、歯車などの測定に向く。

問い合わせ先

株式会社リンスコネク

〒134-0091

東京都江戸川区船堀5-3-2-309

TEL 03-3877-3125

